

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第4回会議 議事録

会議日 令和5年9月26日 会議時間 18:00 ~ 19:55

出席者 合計 26 名 (うち委員 15名、事務局 7名、策定支援業務受託者 4名)

### 案件

- (1) コンセプト・基本方針について (まとめ)
- (2) 統合校舎等の構造について
- (3) 必要諸室、施設規模の検討について

### 議 事

#### 【開会】

[事務局]/欠席委員のお知らせ

#### 【案件 (1) コンセプト・基本方針について (まとめ)】

[委員長]

「本日の案件は3つございます。前回話し合ったコンセプトと基本方針を事務局がまとめてくれましたのでその確認を案件1、案件2で建物の構造、案件3で建設規模についても話し合っていきます。案件1について事務局でまとめた資料の説明をしてもらう前に、前回自分たちが話し合った内容に目を通していただく時間を設けます。2、3分お願いします。

(2、3分経過後)では事務局の方から説明して頂こうと思います。」

[事務局]/資料1の説明

[委員長]

「ありがとうございました。難しかったと思いますが、だいぶきれいにまとめて頂いたなど個人的には思います。ここが少しニュアンスが違うな、違和感があるな、ここはどういう意味ですか、などご質問ありませんか。この場で意見の修正や、手直ししたり削ったり、皆様がいかがでしょうか。」

[委員]

「コンセプト(1)の基本方針⑤の、多様な子どもたちや特別な支援を要する子どもたちが安全かつ安心して通えるバリアフリーが行き届いた学校とします。の部分ですが、事務局の説明を聞いてバリアフリーというのはハードだけではなくソフトな部分においてもという意味なんだろうなということはよく感じました。もっとそのニュアンスがよく伝わるようにしたらいいのではと思います。」

[委員長]

「ありがとうございます。建物に関する委員会ということでハード面が出ますが、もちろん心の面のバリアフリーも忘れてないよ、という部分もきちんと打ち出して欲しいということですね。」

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第4回会議 議事録

[事務局]

「建物に関するコンセプト・基本方針ということで、そこに表現するのは難しいところなのですが、解説の部分も基本構想の1ページをとって載せるつもりですので、そこに心の部分のバリアフリーということを表示したいと思います。」

[委員]

「いいと思います。」

【案件（2）統合校舎等の構造について】

[事務局]/資料2の説明

[委員長]

「放課後児童クラブについては、校舎内に整備するか別棟で整備するか、といったことをまず決める必要があるとのことでしたので、先に放課後児童クラブのあり方について決めたいと思います。各グループでいろんな意見や考えを出し合って、最後全体で一つの答えにまとめていきたいと思いますので、各グループで結論までは出さなくて結構です。各グループで話し合ってみてください。」

グループ討議実施

【Bグループの討議内容(要約)】

[委員]

「放課後児童会が学校の中にあるか、学校とは離れて別にあるかの確認が必要。」

「どちらにもメリット、デメリットはある。それぞれの教員の中でも考えは変わってくる。」

野辺地小は中にあり、子供たちの様子を見るのができるのはいいところ。

確認したいことがあれば教頭、担任に確認できる。子供たちの様子を見るのができるのは同じ校舎にあるいいところ。行事、研修会で早めに教員が帰るときは、児童クラブが18時までなので、児童クラブの職員が施錠する必要がある。」

「防犯、セキュリティ面で(別棟が)いいのかなと思う。」

「敷地内で隣接するように近いほうがよさそう。」

「コンセプトの安心安全を踏まえると、防犯面からも別棟のほうがちゃんとその先生方がみてもらえる。」

「建築的に棟がくっついていると、ある時間でシャッターを下ろさなければいけないとか、棟の間の扉を施錠しなければいけないといったように、管理が大変になる面もある。」

「保護者の迎えは駐車場を広くとって、学校の中に行って子どもたちを迎えることが必要となる。17時半から18時の間に迎えに来る人が多い。」

「通級は1階にあると、子どもが教室へ行きやすく利用しやすい。児童クラブも同様で、低層階にまとめてあったほうがいいと思う。」

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第4回会議 議事録

「通級指導も勉強する部屋だけでなく、ホール(広い運動できるスペース)が必要となるため、1階が望ましい。今までの話を踏まえると、校舎棟、通級指導の棟、別棟で児童クラブのできる形になるかと。児童クラブは特に廊下でつなぐ必要はない。」

「児童館は土曜日もやる。土曜日の運用も考えると、別棟にあったほうがよい。」

### 【Cグループの討議内容(要約)】

「別棟がよい。」

「一棟がよい。」

「どちらもありえる。別棟は管理がしやすい。同棟は面積縮減でき、同じ空間で使用できる。」

「若葉小学校は同じ校舎内で運用している。

同じ棟のデメリットは教室と児童会が近くにある。個人情報管理やセキュリティを考えると別棟のほうが管理しやすい。別棟のデメリットは先生と児童会の職員のやりとりがうすくなる。(電話等でやりとりは可能。)管理する立場としては別棟がよい。夏休みは6時ぐらいまで子供たちを預かる。」

「入口がわかれるなら一棟でもよい。」

「学校と児童会は管轄が違うので、別棟が管理しやすい。電気代、燃料代等の按分等。」

「スペース有効活用のため、通級の教室を児童会に使用することはできないか。」

「こちらも管轄が違うため共用は難しい。」

### 【Aグループの討議内容(要約)】

「野辺地小学校は校内です。学校の外にでないので天気が悪い日にはいいのかな。」

「若葉小学校も2階の教室2つ占有していて、校舎内に作るとしたら教室3つ4つは必要。

セキュリティの存在もあって、カギを閉める担当を曖昧にしないというところでは別棟とする利点がある。また最初から占有で校内に設計すると特別教室や生活科室が削られる可能性があるのではと思います。」

「この先かなり短い期間で空き教室がでますよね。将来的に中学校も一緒にするとか様々なことを考えていかないと。」

「数が減って教室があいても、放課後児童クラブの数は変わらないです。6時までの時間をのばして欲しいという意見もたくさんあるし、保護者の方の働き方が変わってきてるなとすごく感じます。」

「災害時に避難する場所として区切って使うこともできるし、物がたくさんあるので教室が空いていて困ることはないです。」

「本当のただの空きスペースにならないように、そこをちゃんと最初から考えて作っていかないといけない。(別棟だと)日曜祝日使いやすいというのはありますね。」

「子供を教室まで送った後、忘れ物をして教室に戻ることもある。その時物がなくなったりすることがあるかも。その場合は分けた方がいい。スペースのことを考えると一緒にした方が効率的。」

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第4回会議 議事録

[委員長]

「各グループの議論の結果を教えてください。」

【Bグループの討議結果】

[委員]

「別棟でも一緒でもメリットデメリットはあるというところを確認しました。

ただ放課後児童館もひとつに集約できるという将来性、防犯の面、別棟の方がいいと考えました。」

【Cグループの討議結果】

[田中委員]

「別棟のがよいです。別棟の方が管理はしやすく、土日や学校の時間外も運用しやすいため。一棟の方がコミュニケーションは取りやすいが、別棟でも電話等で対応できるということを話し合いました。」

【Aグループの討議結果】

[委員]

「Aグループでもメリットデメリットの話が出ました。

児童数の推移を考慮に入れて将来的に校舎の中で空き教室が増えるところでは中という意見、また管理やセキュリティの面から別棟の方がいいという意見もありました。

結論はだめでしたが、別棟の方がいいんじゃないかなというニュアンスです。」

[委員長]

「どこのグループも今のところは別棟ということで、別棟を基本にしたいと思いますが宜しいでしょうか。」

[委員]

「よろしい。」

[委員長]

「これから校舎・体育館・放課後児童クラブの3つの建物の構造を決めていきたいと思いますが、残りの資料について説明して頂きたいと思います。」

[アドバイザー]/資料2の構造種別の比較について説明

[委員長]

「かなり専門的な部分になってきたので、今の時点でご質問あれば受け付けます。」

[委員]

「青森県でどれが一番多いですか。」

[アドバイザー]

「鉄筋コンクリート造が一番多いです。木造は少ないですが最近が増えてきています。」

[委員]

「25、26年の頃の耐震基準と現在はやはり変わっていますか。」

[アドバイザー]

「少しずつは変わっていますが、大きくは変わっていません。」

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第4回会議 議事録

[委員]

「現在の若葉小学校が耐えられるのであればリフォームして使えるが、それができないから新築するという計画になってきたと思うので耐久は大事ですね。40年、50年後には建て直さなくても変えて使えるように考えていかないといけませんね。」

[委員長]

「ありがとうございます。」

各グループで話し合いを進めて頂き、この建物はこの構造と決めて頂きたいと思います。よろしく願います。」

グループ討議実施

【Bグループの討議内容(要約)】

「木造は寒いイメージがある。」

「断熱についてはどの構造でも同等の断熱設計ができるので、構造によって大きく差は無い。」

「結露はほとんどない。建物本体や窓の気密・断熱性能が以前より向上した。各室に換気設備も設置される。」

「(野辺地小学校の敷地で)すべて1階に計画すると、グラウンドがほとんど使えなくなってしまいます。2,3階建てが基本で、『分棟にする棟を部分的に1階建て』といったように棟によって階を変えることはできると思うが、全部1階にするのは非常に難しい。」

「木造でも3階建て学校はできるようになっている。」

「校舎は平屋で6000㎡だとグラウンドが取れなくなる。放課後児童クラブ等の小規模な建物だとコストも安い。」

「児童クラブの規模だと、そこまでコストはかからない。校舎・体育館を木造でやろうとすると、広い空間部分の材料が特別なものとなりコストが上がってしまう。」

「児童クラブは、運動できるスペースをとりながら木造が良いと思う。」

「(体育館は)鉄骨も多いが、RCもある。棟の分け方にもよるが、体育館と校舎をくっつけて一体のRC造というのもできる。大空間に適した鉄骨造の採用も問題ない。また、どの構造でも内部の木質化はできる。」

「(災害時の避難所としては)どの構造でも耐震安全性は確保できるが、建物の耐用年数の面で差がある。」

「資料をみると、鉄骨34年、RC47年とある。」

「校舎棟と一緒に減価償却できたほうがよいのではないか。」

「ICT整備等色々なところにコストがかかるため、児童クラブは木造にしてコストを縮減し、校舎・体育館は比較表でメリットが多く欠点の少ないRCがよいのではないか。」

「木造で学校等が作りやすいよう、国が法律を緩和している背景もある。」

「コンセプトとして規模によって木造を採用するのはいいと思う。」

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第4回会議 議事録

「(冬の寒さに関して、暖房時の環境に差は)ほぼない。」

「耐久性に関しては大きく差は無い。」

### 【Cグループの討議内容(要約)】

「別棟の場合は別構造とすることが可能。」

「せっかく作るので全部構造をわけたらどうか。」

「体育館は鉄筋コンクリート造で作ることができるのか。耐震性に問題ないか。」

「体育館は屋根が鉄骨になる、耐震性は問題ない。」

「校舎はRC造がよい、災害に強い、耐久性が高い、性能が高い。RCの寿命はどの程度か。」

「住宅の場合の法定耐用年数はRCが47年で、鉄骨が34年、木造が22年。」

「せっかく作るので、見た目にインパクトがある建物にしたい。」

「木造校舎も環境配慮等の考え方から増えてきている。耐震性も問題はない。」

3階とした場合、耐火関係の法律に気を付ける必要がある。」

「建て替え予定地の敷地を考慮すると3階になることから木造は難しいのかもしれない。」

「子どもたちが掃除等を行うが掃除のしやすさや、メンテナンスを考えるとどれがよいか。」

「掃除のしやすさは構造というよりは仕上材の要因が大きい。耐久性の観点からは鉄骨は錆、木造は白アリへの適切な対策が必要。耐久性はRCが最も高い。」

「体育館は避難場所になるのであれば木造は抵抗がある。」

「校舎は鉄筋コンクリート造がいいと思う。」

### 【Aグループの討議内容(要約)】

「体育館に窓があまりなくて空調もつけられなかった場合、夏場使えなくなってしまう。」

冷房暖房と相性がいいのはどちらなのでしょう。」

「1階の部分を鉄筋コンクリート造、その上に乗せる屋根部分を鉄骨造とする手法が多い。」

「コストはどれくらいになるのでしょうか。」

「SRCですとまだまだ高くなります。体育館であればSRCまでする必要はないと考えます。」

「冷暖房的な相性ですとか、避難所として使うことを考えると、どれがいいんでしょう。」

「暖房で多いのは遠赤外線や床暖房ですね。体育館は天井が高いので普通の暖房では暖かい空気が上昇してしまうので下の方が暖かくなりません。」

「メンテナンスはしやすいですか。床暖房は地震で亀裂が生じて使えなくなることも考えられる。できれば見えてるほうがメンテナンスしやすいのでは。」

「それで議論になっているのは、エアコンを使って、電源が遮断された場合は非常用電源でまかなうという手法です。」

「体育館と一般教室棟は分けた方がいいです。大空間は大空間の方法で考えた方がベターです。」

「想像的にはRCがいいとは思いますが。子供たちが触れる部分は木が優しくいいと思うが構造的に

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第4回会議 議事録

はメンテナンスしやすい、耐久性とか耐震性がしっかりしたものがいいと思います。」

[委員長]

「それではまだのところもあると思うのですが、事務局から耐震等に関わる補足もしたいということなので、それを聞いてから各グループの発表にしたいと思います。」

[事務局]

「先ほどの浅野さんの質問で耐震という言葉が出たので補足をします。

対象の基準に関しては昭和56年を境に建築基準法が大きく改正されて、そこを境に旧耐震基準、新耐震基準という言い方をしています。町の学校でいうと旧馬門小学校は含めて3つの小学校は旧耐震基準の建物です。中学校は平成に入ってから建物ですので、新耐震基準の建物になっています。平成20年に入って小学校の耐震診断をした結果、数値が非常に危険な状況を示しており、それを踏まえ耐震補強工事をして校舎にブレースで補強している状況です。耐震という意味合いも避難する時間に大きな地震が来てもすぐに壊れないで、中にいる人たちがみんな避難できるよという意味合いを持った言葉として耐震という言葉があるということをご理解いただければなと思います。

### 【Bグループの討議結果】

[委員]

「では議題に上がったことを話させていただきます。結論から言いますと、校舎・体育館共にRC造がいいということになりました。第一に耐久性が優れているところ、居住性、気密性がよいことが理由です。鉄骨造と比較しても優れているということもあります。児童クラブは、小規模建物は木造のほうが安く上がるという情報も聞きましたし、特色を出しやすい、温かみがあるといったところから木造がいいのではないかという意見が出ました。以上です。」

### 【Cグループの討議結果】

[委員]

「学校はRC造がいいんじゃないかという話になりました。体育館、児童会は未定です。」

### 【Aグループの討議結果】

[委員]

「Aグループでは主に体育館の話題になりまして、災害の時のことも考えて、冷暖房とか空調との相性についても話題になりました。またここにはないSRCもどうかという話にもなりました。結論がこれというものは出なかったんですけど、デザインも大事ですけど、これから長く使っていくものとしてメンテナンスのしやすさとか、耐久性、耐震性、あと体育館と校舎棟が同じ見え方じゃなく体育館は広いからこっち、校舎はコンパクトな部屋が多いからこっちという風に決めていけばいいのかなという話になりました。以上です。」

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第4回会議 議事録

[委員長]

「ありがとうございます。そうすると今のところまとまった中で行くと校舎は2グループがRC造がいいのかなというあたり、体育館についてはRC、SRCについてはまだ私たちは今日の会議の資料の中では説明は聞いていないのですが、専門家の方からの話があってそういうものもあるということで意見が出ております。あと、放課後児童クラブについては、Bグループが意見を出してくれたんですが、木造がいいのではないかという意見が出ておりました。SRCについて少し説明をいただいてもいいでしょうか。」

[アドバイザー]

「鉄筋コンクリート造と大体同じなんですけれども、コンクリートの中に細く丸い金属棒が入っているのが鉄筋コンクリート造で、コンクリートの中に太い鉄骨が入っているのがSRC造。耐久性はRCとほぼ同じですので、RCと考えてもらってもいいかもしれません。中に鉄筋だけが入るか、鉄骨も入るかの違いです。」

[委員長]

「SRCもRCとほぼ同様という形で流していくとすると、体育館もRCの意見が多かったということになりますね。そうすると今のところ校舎に関してはRC、体育館もRC、放課後児童クラブは木造でどうかという意見がBから出たんですが、他のグループの方はいかがですか。ちょとこじんまりした感じにはなるので、一般の家屋と似たような感じになってくるかなと。あとは見栄えのところとか質感で考えたときに、学校という場所と放課後児童クラブという子供たちが学校から少し解放されてはじける空間になるんですけど、少し住み分けができる環境になるのかなってということで、同じじゃないほうがいいのかなど考えたりしたのですが、いかがでしょうか。当委員会のまとめとしては木造ということで押していただいてもよろしいですか。」

[委員]

「いいです。」

[委員長]

「では、確認します。校舎・体育館はRC造、放課後児童クラブは木造ということで決定したいと思います。では、ここで案件2も終わりました、案件3ということでさらに細かいものを見ていただくことになります。必要な諸室と施設規模の検討ということで、事務局から説明をお願いします。」

【案件（3） 必要諸室・施設規模の検討について】

[委員長]

「資料3の説明の説明をお願いします。」

[事務局]/資料3の説明

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第4回会議 議事録

[委員長]

「今回作る基本構想に各教室の面積は記載しないが、建物のボリュームを検討するために参考で作成した必要諸室一覧表です。予算を考慮しつつ、室の面積、不要な部屋、他に追加したい部屋、工夫により減らせる部屋等について各班で議論をお願いします。」

[事務局より補足]

「来年以降設計で再調整するので、ここで必要な室を確定させるわけではないです。」

グループ討議実施

【Bグループの討議内容(要約)】

「普通教室はこれでいいです。特別支援教室2つです。」

「知的障がいの子の人数はあまり変わらないが、情緒障がいの子は年々増えている。」

5クラスまではいらないが、4クラスにしましょうか。」

「(印刷室は)現状は複合機があるので一緒にいいです。」

「校長室はいる、保健室いる、放送室いる、会議室いる、用務員室いる、作業室いる。応接室は？」

「校長室が応接室的な役割を果たしている。」

「教育相談室はカウンセラーがくるため、必要となる。教材室はいる。書庫室は？」

「書庫室は重要書類の保管が必要となるので、必要となる。」

「理科室、家庭科室、図書室、音楽室、図工室は必要。コンピューター室は現状野辺地小学校にはない。1人1台のタブレットがあるため、サーバー室のみ必要となる。面積も表も部屋ほどいらぬ。」

「充電用の保管庫は各階に必要。」

「充電用保管庫は室として計上してないが、27フリースペースで対応する。」

「コンピューター室は不要だが、サーバー室は必要として要検討とする。生活科室は必要です。」

「(小人数授業用教室は)低、中、高ブロックに3つあればよいとおもう。」

「外国語室は必要です。」

「(聴覚室は)いらぬです。多目的スペースは必要です。集会や学年ごとの集まりに使う。歴史文化資料室は不要です。地域懇談室は会議室でまかなえるためいらぬです。共有部分は必要です。

ランドセル等を置きたい。」

「広めの廊下は使い勝手が良い。」

「印刷室と書庫室は兼用できる。」

「生徒会やクラブ活動室があったほうが便利ではないか。」

「今は教室でまかなっている。あれば便利ではあるが、委員会やクラブ等で利用する頻度はそう多くない。」

「クラブにも化学クラブや音楽クラブとか教室で対応できるものも多い。やれる範囲、場所に合った活動をしている。」

「多目的な教室が何室かあれば使い勝手がよいのではないか。」

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第4回会議 議事録

「二枚目の室は全て必要室になっていて、大きさだけの議論になると思います。」

「児童クラブは体育館のようなものが必要では？」

「遊戯室がそれにあたるのでは？」

### 【Cグループの討議内容(要約)】

「外国語教室はいらぬような気がします。」

「今、イングリッシュルームがあってALTと英語専科の人が使っている。教室環境も英語が教えやすい部屋としている。」

「普通教室での授業も可能だが、専用の部屋があったほうが効果的。」

「PC室はタブレットの保管庫になっていて、不要。」

「廊下のスペースに置いてしまえば、不要になるのではないか。」

「若葉小学校に視聴覚室は無い。各教室で動画視聴できる環境があるので不要ではないか。」

「図書室に△がついているが必要なのではないか。」

「他事例を視察した時に多目的スペースと一体になった図書スペースがあった。

そのイメージではないか。」

「少人数授業教室とは何か。教室の予備教室を使用できないか。」

「算数等で人数を分けて指導することがある。予備教室が空いていれば代替可能。」

「(歴史文化資料室は) 統合したものをきれいに展示するのであれば必要かもしれないが、倉庫になるなら不要。」

### 【Cグループの討議内容(要約)】

「学校の都合だけで言うと今の教室だとちょっと小さい。感染症とか言っても距離が取れない。1つの教室に収めようと思ったらものを置くスペースも考えてほしい。」

「図工で作った作品を乾かすスペースは教室に取れないと思われる。」

「野辺地小学校の印刷室は機械を置くところはあるが、職員室の一室。」

「職員室の広さを確保してくれれば印刷室を分ける必要はない。校長室はそんなに広いスペースはいらぬ。会議室はPTAも使うしある程度の広さが必要。用務員室はチェーンソーとか置くスペースは必要。応接室はいらぬ。教育相談室は作らぬといけぬ。書庫室は絶対に必要。部屋自体に入れて鍵ができるのがいい。」

「(書庫室は) コンピューター室と一緒にしてもいいかも。タブレットになってるから、大きいものはそんなに必要ない。少人数教室はあると便利だ。」

「視聴覚室はいらぬと思う。外国語室も不要と思う。」

「歴史文化資料室はいると思う。通級指導教室棟はこの分は必要。」

「(授業用のスキーは) 使うときはアリーナに台を出したりしてる、もし小屋が建たぬなら非常に厳しい。トイレは災害時の避難所想定すると絶対必要。オストメイトも必要。」

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第4回会議 議事録

[委員長]

「それではBグループから発表をお願いします。」

【Bグループの討議結果】

[委員]

「教室が必要かどうかというところで、2番普通教室（特別支援）は3～4、4番印刷室と13番は併用できる、応接室必要ない、19番コンピューター室はタブレットが主で使われて、各教室で使っているので部屋はいらないけど、サーバーを置く場所が必要であれば小さな部屋が必要。21番少人数授業用教室は2つとありますが児童会室等で使える可能性があるのも、今のところ△。23番視聴覚室必要ありません。25番歴史文化資料室いりません。26番地域懇談室も兼ねれるので必要ありません。27番その他共用部分ですが、廊下の方にロッカーをつけて子供が置いたり、タブレットの保管庫を設けるようなスペースであれば特に必要だということになります。」

【Cグループの討議結果】

[委員]

「全部について話題にあげることができなかったので、話題にあがった分だけ話していきたいと思います。前半部分についてはその通りでいいかな。13番の書庫室についてはそこまで広さは必要ないのではないかな。図書室は、図書を置いた多目的スペースという形の学校を見て、すごく雰囲気が良かったので、学校図書館としての位置づけをクリアできるのであれば図書室単独でなくてもいいのかな。19番のコンピューター室については、タブレットや携帯端末で学習するのが主になってきてますのでコンピューター室として整備する必要はないのではないかな。生活科室については2という数字から低学年の各学年に生活科室を配置するのかなということで、結論がでないままです。少人数授業用教室については今後不要教室が増えていくのであればそこでやれるのではないかな。外国語室については環境を整えて使いやすいようにとは話したのですが、必ず必要かといわれると確定はしませんでした。視聴覚室は必要ない。歴史文化資料室は物置みたいになるのであれば必要ないかな、整備されているのであればいいかな。最後に話題になったのは地域をつなぐ部屋についてですが、必要かどうかは議論できていません。」

【Aグループの討議結果】

[委員]

「1番の普通教室は、お金のことがありますが広い方がいいなという話がでました。4番の印刷室はなくていいかな。その代わり職員室にしっかりスペースがあって印刷物を処理できるといいのかな。9番の用務員室は用務員さんが使うものですとか作業を行うスペースを考えるととても大事なのかな。校長室は来賓の方がいらっかったときの会議室とかの場所がちゃんと確保されているのであれば、そ

# 野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

## 第4回会議 議事録

んなに大きなくてもいいのかな。13番の書庫室は紙もの保管するとなるとスペースが必要になりますのでしっかり鍵がかけれると保管にいいのかなという話がありました。16番の図書室は必要。19番のコンピューター室と一緒にしてもいいのかな。21番の少人数用の教室、先生方してみればあった方がいいかな。外国語室、視聴覚室はなくてもいいのかな。25番の歴史文化資料室は、野辺地小学校にあるのですが、若葉と一緒にしたらもっともっといっぱいになって大変なことになりそうですので、歴史民俗資料館の方においてはどうか、といったアイデアもでました。体育館の方ですが、スキー小屋はやっぱりあった方がいい、トイレは災害時、避難場所になった場合に便器の数を確保しなくてはならない、障害のある方用にオストメイトも必要になってくるのかな、という話題になってました。」

[委員長]

「次回の会議の最初の案件に、続きの通級棟、体育館、放課後児童クラブについて確認を進めさせて頂こうと思います。今日はまず、校舎の部分話し合ったということでよろしいでしょうか。」

[委員]

「宜しい。」

[委員長]

「本日予定したものは一旦終わりにしたいと思います。ありがとうございました。」

[事務局]/閉会の挨拶。次回の検討委員会の開催は10月19日木曜日。